

玄海原子力発電所3号炉 高経年化技術評価に係るヒアリング
コメント反映整理表<共通事項>

2023年7月25日 九州電力㈱

No	日付	資料名	該当ページ	コメント内容	コメント対応	回答日	完了日
1	2023年6月19日	高経年化技術評価書 本冊	23	評価対象機器について、「系統図等を基に抽出した」としているが、評価対象機器の抽出に用いた具体的な情報及び手順を説明すること。	回答資料 玄海3号炉-共通事項-1のとおり。	7月25日	7月25日
2	2023年6月19日	高経年化技術評価書 本冊	—	MOX燃料の使用について、中性子照射脆化、照射誘起型応力腐食割れの補足説明資料にはその影響を考慮している旨の記載があるが、その他の劣化事象(例えばコンクリートへの中性子照射等)にMOX燃料の影響はないのか、整理して説明すること。	後日回答		
3	2023年6月19日	高経年化技術評価書 本冊	18	資料2-5の図において、高経年化技術評価の結果を踏まえ長期施設管理方針を策定し、保安に反映するフローが記載されていないのは何故か。	施設管理として、高経年化技術評価の結果を踏まえ長期施設管理方針を策定し、保安に反映する活動があるためフローを追加する。	7月25日	7月25日
4	2023年6月19日	高経年化技術評価書 本冊 補足説明資料	—	川内1号、2号の審査資料等の内容の変更については玄海3号の申請書類、補足説明資料にも適切に反映すること。	後日回答		

玄海3号炉—共通事項—1

<p>タイトル</p>	<p>評価対象機器について、「系統図等を基に抽出した」としているが、評価対象機器の抽出に用いた具体的な情報及び手順を説明すること。</p>
<p>説明</p>	<p>安全重要度分類審査指針及びこれを踏まえ具体的な分類を示した日本電気協会「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」(JEAG4612-2010)に基づき識別した着色系統図を基に、評価対象となる機器及び構造物全てのリスト(以下、「機器リスト」という。)を作成した。なお、着色系統図は、安全機能の重要度分類ごとに着色したものであり、高温・高圧範囲、常設重大事故等対処設備等の明確化を図るものである。</p> <p>評価対象となる機器及び構造物の抽出フローを以下に示す。</p> <pre> graph TD A[プラント全系統・機器・構造物] --> B{安全上重要*1) 又は常設重大事故等対処設備か?} B -- No --> C{高温・高圧の環境下*2) にあるか?} B -- Yes --> D{機器単位で長期にわたり使用するか?} C -- No --> D C -- Yes --> E{クラス3の機器・構造物*3) であるか?} D -- No --> F[評価対象外・燃料集集体等] D -- Yes --> G[評価対象機器及び構造物] E -- Yes --> H[自主的評価] E -- No --> I[評価対象外] </pre> <p>*1 重要度分類クラス1及び2*2) (耐津波安全性評価が必要な浸水防護施設に属する機器及び構造物を含む。) *2 重要度分類クラス3のうち、最高使用温度が95℃を超え、又は最高使用圧力が1900kPaを超える環境下にある機器(原子炉格納容器外にあるものに限る) *3 「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」(1990年8月30日原子力安全委員会決定)の重要度分類 *4 浸水防護施設に属する機器及び構造物を含む。</p> <p>評価対象となる機器及び構造物の抽出フロー</p> <p style="text-align: right;">以上</p>